

## 実習 39 : サブレポートの追加

### ステップ 1 : レポートを開く

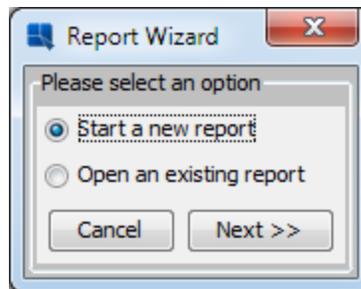
1. 実習 20 で作成された “TopCustomers” レポートを選択し、ツールバーから 「Open」  ボタンをクリックします。レポートは Report Designer で開きます。

### ステップ 2 : ネスト化セクションの挿入

1. テーブル・フッタ・セクションの横のボタンをクリックし、オプションメニューを開きます。'Insert Section' を選択しネスト化セクションが作成されます。

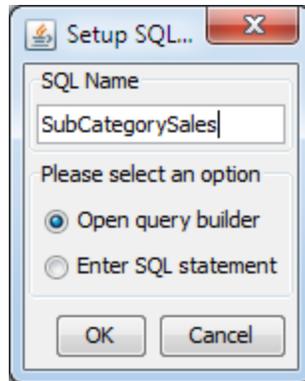
### ステップ 3 : サブレポートの挿入

1. ツールバーから 「Sub-Report」  ボタンをクリックします。レポートの保存するためのダイアログが表示されます。「Yes」をクリックします。
2. デザインウィンドウ内のマウスポインター近くに点線の矩形が表示されます。ネスト化セクションの上左側に矩形を移動し、クリックでサブレポートを配置します。サブレポートとする既存のレポートまたは新規レポートを作成するダイアログが表示されます。レポートの新規作成を選択し、「Next」をクリックします。



### ステップ 4 : クエリの作成

1. データレジストリが開き、サブレポートのデータソースを選択します。“Woodview” ノードを拡張し “Queries” サブノードを選択、「ADD」ボタンをクリックします。
2. 次のダイアログにて、「Open Query Builder」を選択し、クエリ名を "SubCategory Sales" に設定します。



3. 「Ok」をクリックし、クエリビルダーを開きます。テーブル・ウィンドウから下記のテーブル名を選択し「Add」をクリックします。

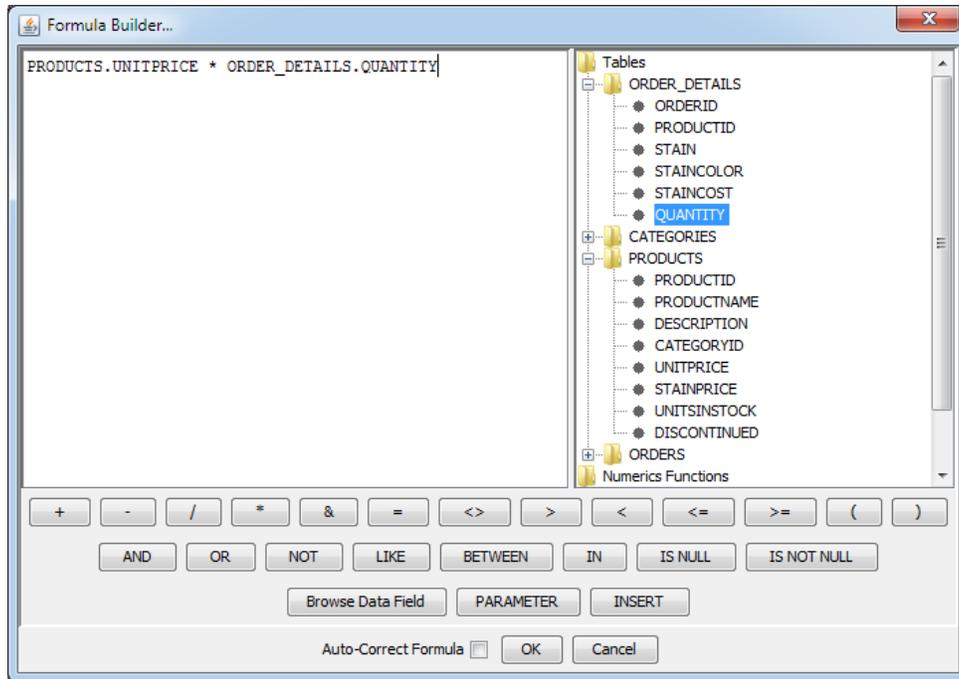
```
CATEGORIES  
ORDER_DETAILS  
ORDERS  
PRODUCTS
```

4. 該当するテーブルを選択した後、「Close」ボタンをクリックし、テーブル・ウィンドウを閉じます。**Query Builder** ウィンドウの上側にあるテーブル・ウィンドウに下記のフィールド名をダブルクリックし、クエリに追加します。

```
CATEGORIES.CATEGORYNAME  
ORDER_DETAILS.ORDERID  
ORDER_DETAILS.QUANTITY
```

5. 上記フィールドを追加した後、“Quantity”フィールドの横にある空白コラムの「Field」部分を右クリックし、ポップアップメニューから'Build'を選択します。新しいコラムの構文を作成するフォーミュラ・ビルダーがオープンされます。テーブルのフォルダをダブルクリックしますと、フォルダが拡張されます。“PRODUCTS”フォルダを拡張し、UNITPRICE をダブルクリックします。次、掛けるボタン「\*」をクリックします。最後に、“ORDER\_DETAILS”フォルダを拡張し、QUANTITY フィールドをダブルクリックします。完成したフォーミュラが下記のようにになります。

```
PRODUCTS.UNITPRICE * ORDER_DETAILS.QUANTITY
```



- 「Ok」をクリックし、フォーミュラ・ビルダーを閉じます。"Expression"というコラムが作成されます。次に"CategoryName"コラムの"Condition"フィールドを右クリックします。ポップアップメニューから「Build」を選択し、フォーミュラ・ビルダーを開きます。下記の条件をクエリに追加します。

```
ORDERS.ORDERDATE BETWEEN '2003-11-02' AND '2003-12-02'
```

- 「OK」をクリックし、フォーミュラ・ビルダーを閉じます。CategoryName コラムの"Aggregation"フィールドをダブルクリックし、集計方法として"Group by"を選択します。クリックしたフィールドや集合は全て"Group by"に変更されます。各フィールドの集計を下記のように指定します。

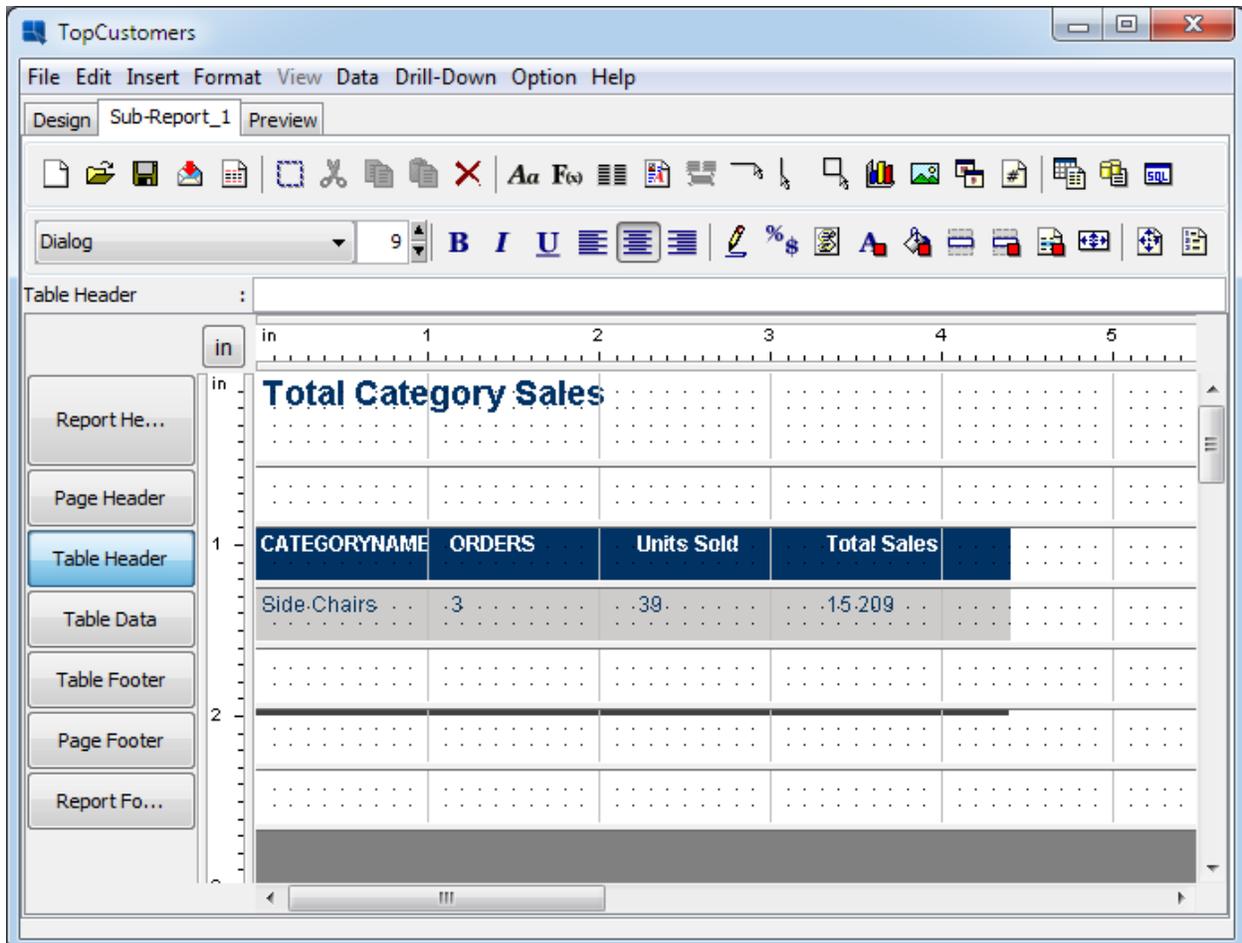
```
OrderID - Count
Quantity - Sum
Expression - Sum
```

- "OrderID"コラムの"Table"フィールドを右クリックし、ポップアップメニューから「Alias」を選択します。表示されたダイアログに、エイリアス名として"Orders"を指定します。同じように、Quantity コラムに"Units Sold"のエイリアス名を指定し、Expression コラムに"Total Sales"のエイリアス名を指定します。
- ファイルメニューから'Done'を選択しますと、クエリが保存され、クエリ・ビルダーが閉じます。

#### ステップ 5 : レポートの作成

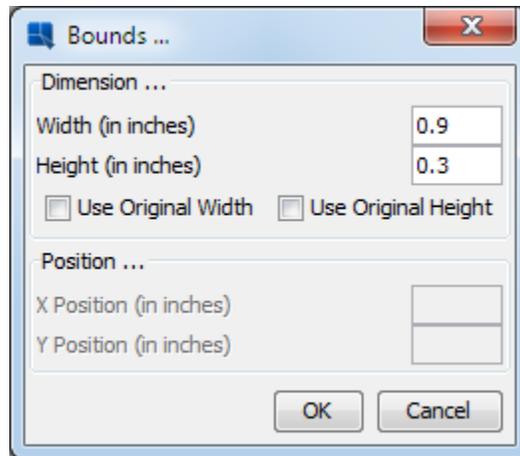
- 作成された"Category Sales"クエリを選択し、'NEXT'をクリック、サブレポートとして使用します。また、ダブルクリックで、レポート・タイプの選択画面に移行します。レポート・タイプとして「Simple Columnar」を選択し、「Next」をクリックします。
- コラムを全選択し、データ・マッピング・ダイアログで表示するように設定します。その他のフォーマットオプションを設定するために、「Next」をクリックします。"Total Category Sales"のタイト

ルを追加し、「Next」をクリックします。レポート・スタイル画面にて、スタイルとして「Block Left-Align」を選択し、「Done」をクリックします。デザインウィンドウに戻り、サブレポートが表示されます。



#### ステップ6：サブレポートの編集

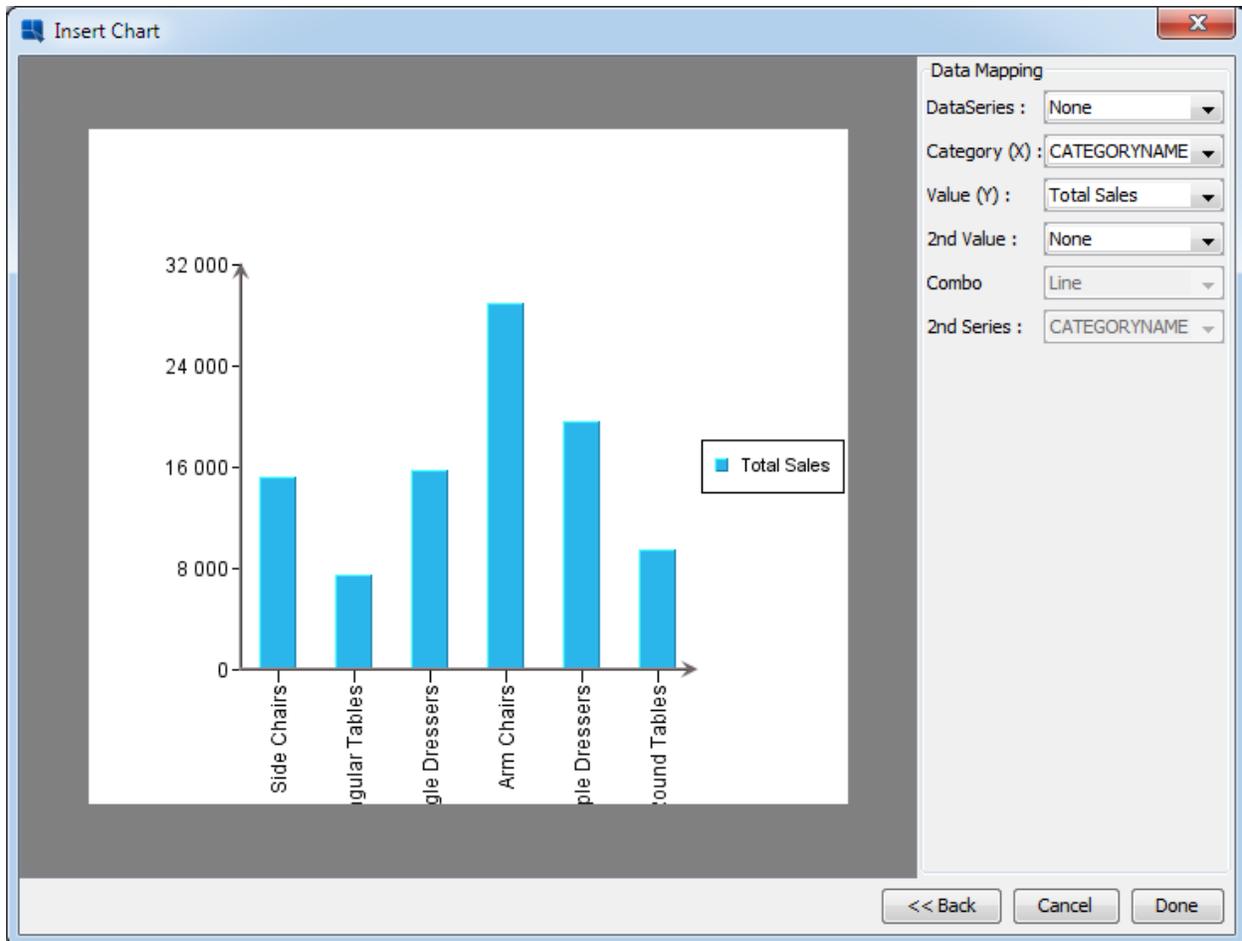
1. サブレポートの全てのコラムとヘッダーを選択するには、グループ・セレクション・ツールを使用します。フォントサイズ・スピンドボックスをクリックし、フォントを 8pt に設定します。
2. グループ・セレクション・ツールを使用して、“ORDERS”、“Units Sold”、“Total Sales” のコラムとヘッダーを選択します。ツールバーから「Bounds」ボタン  をクリックします。Bounds ダイアログでコラムとヘッダーのサイズを 0.9 インチ x 0.3 インチに設定し、「OK」をクリックします。



3. ページフッタのデフォルト線を選択し、ツールバーから「Delete」 ボタンをクリックします。線が削除されます。

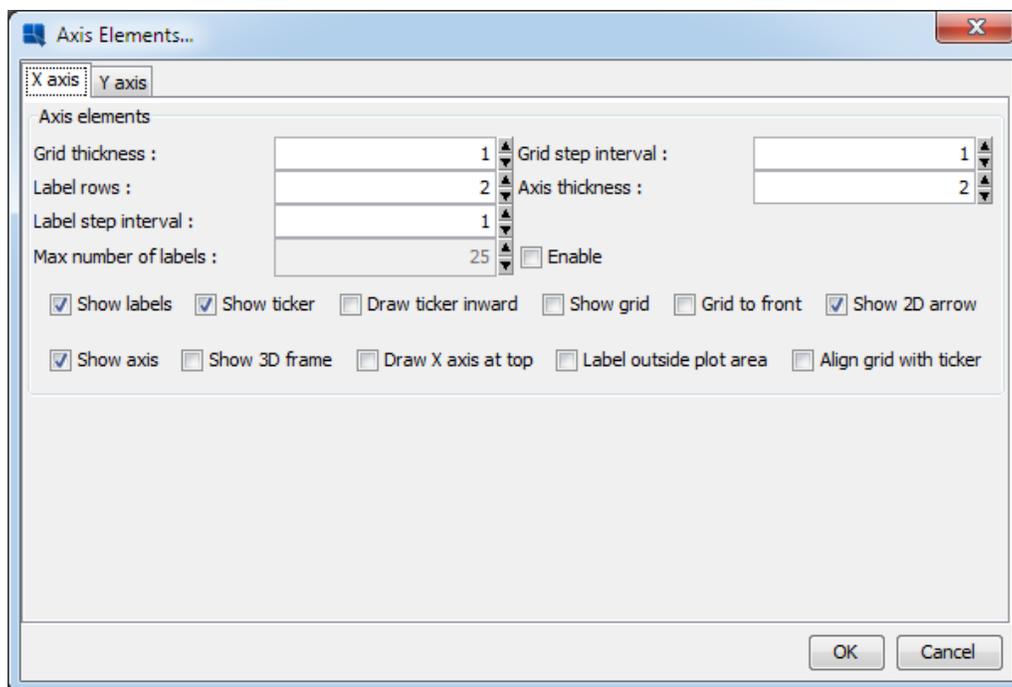
#### ステップ7：チャートの追加

1. ツールバーから「Insert Chart」 ボタンをクリックします。デザインウィンドウ内のマウスポインター近くに点線の矩形が表示されます。テーブル・データ・セクションの“Total Sales”に矩形を移動しクリックします。セクションのリサイズは行いません。
2. チャートのデータ・ソースを選択するためのダイアログが開きます。レポート・データの使用を選択し「OK」をクリックします。
3. ダイアログが開き、レポートのデータが表示されます。続いて、「Next」をクリックします。チャート・タイプダイアログで、2次元の柱状チャートを選択し、「Next」をクリックします。
4. データ系列がないためコラムマッピングウィンドウで対応付けを変更します。カテゴリ名としては“CATEGORYNAME”で、値は“Total Sales”になります。「Done」をクリックし、メインチャートデザイナーウィンドウに戻ります。

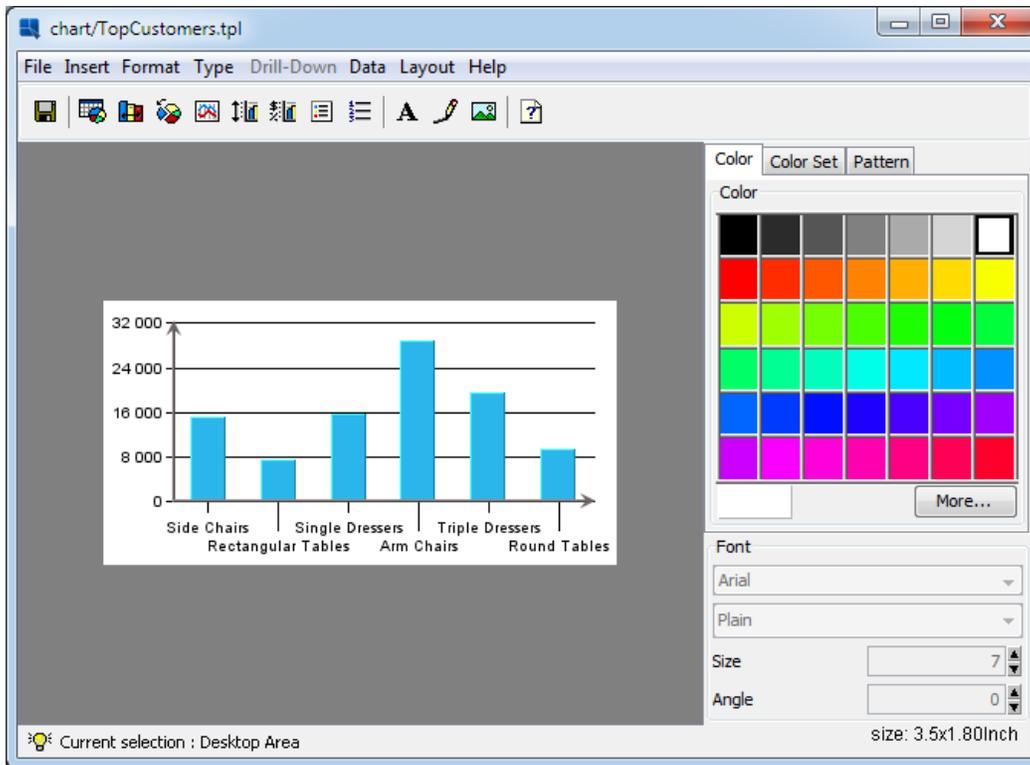


#### ステップ 8 : チャートのフォーマット

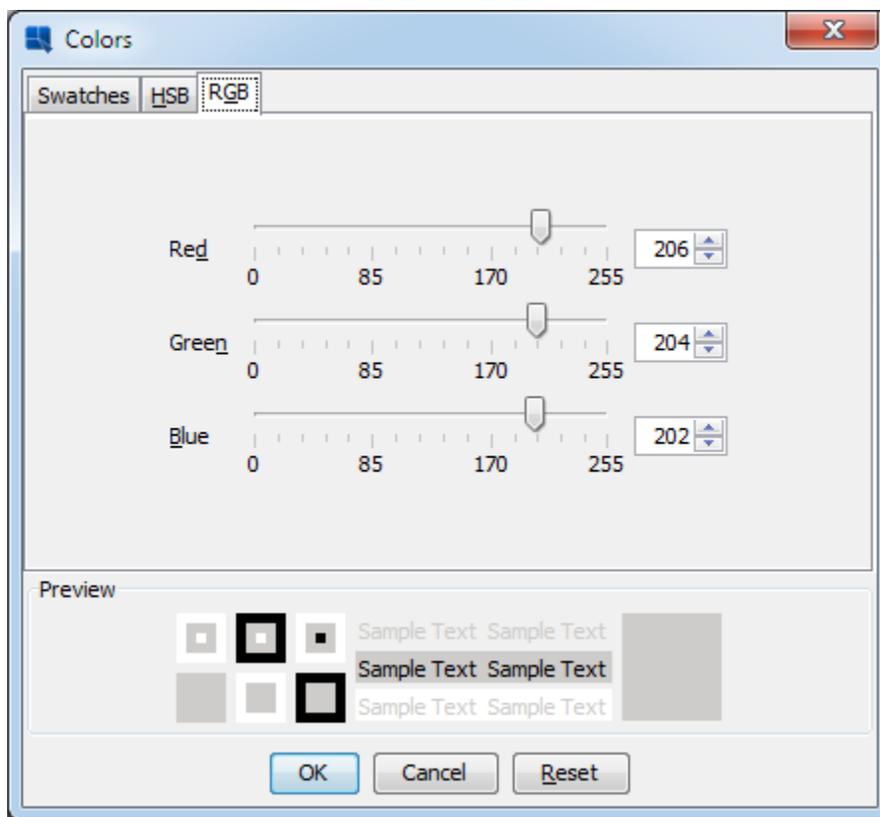
1. フォーマットメニューから「Canvas」を選択します。「Canvas」ダイアログにて、「Maintain Ratio」オプションのチェックを外し、チャートのキャンバスサイズを 3.5 インチ x 1.8 インチに設定します。「Ok」をクリックし、キャンバスを調整します。
2. ツールバーから「Format Legend」 ボタンをクリックします。ダイアログで、「Display Legend」オプションのチェックを外し、「OK」をクリックします。チャートの凡例がなくなります。
3. X軸をクリックします。フォントパネルでフォントを 7pt、Arial、Plain に設定します。フォントの角度を 0 に設定します。このときラベル同士は重なっています。
4. 次に、クリックで Y 軸をクリックします。フォントパネルでフォントを 7pt、Arial、Plain に設定します。
5. ツールバーから「Format Axis Elements」 ボタンをクリックします。軸項目ダイアログの「X axis」タブに「Label Rows」オプションを 2 に設定します。



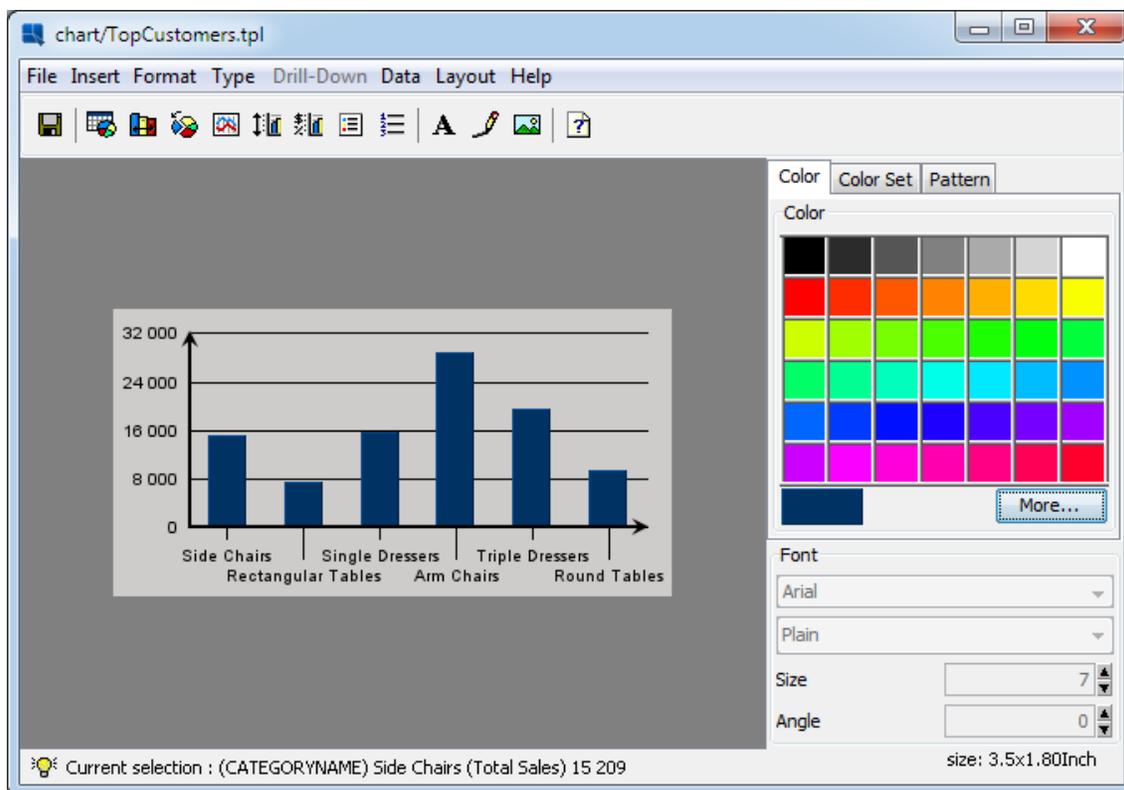
6. 軸項目ダイアログの“Y axis”タブをクリックします。「Show Grid」オプションをクリックします。
7. 「OK」のクリックでダイアログを閉じます。X軸ラベルは2行の表示になります。
8. チャート・プロットをドラッグ&ドロップし、キャンバスに配置します。必要であれば、プロットの右クリックとドラッグでリサイズを行います。



9. チャートの軸をクリックし、選択します。カラーパネルから黒のカラーズウォッチを選択すると、軸の色は黒くなります。次にチャートキャンバスをクリックします。その他のカラーパネルを表示するには、「More」ボタンをクリックします。カラーダイアログの「RGB」タブに移行し、キャンバスの色を、この RGB 値に設定します： 206, 204, 202.



10. チャートの一番目のコラムを選択します。カラーダイアログでRGBの値を0, 50, 100に設定します。完成するチャートは以下のようになります。



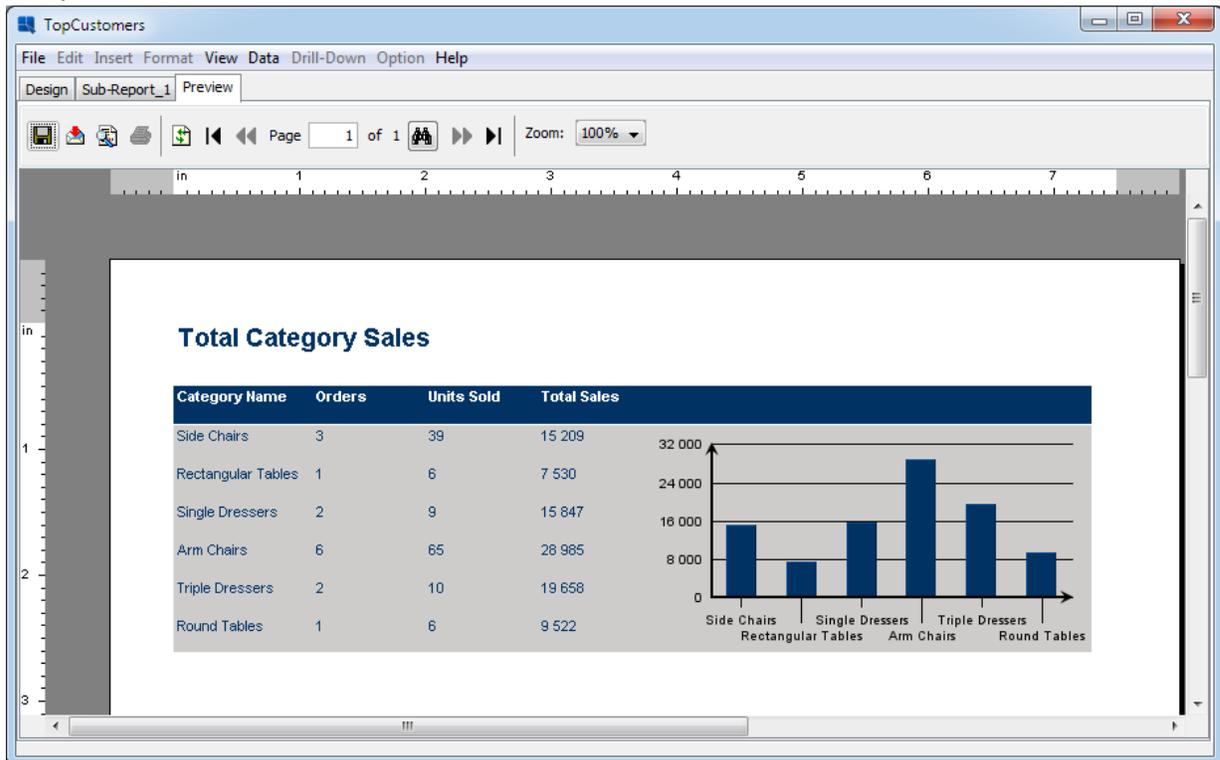
### ステップ 9 : チャートの保存

1. チャートデザイナーのツールバーにの「Save」アイコンをクリックします。チャートはレポートのデータを使用しているため、ファイル名または保存先の入力ダイアログが表示されます。
2. チャートデザイナーを閉じます。

### ステップ 10 : チャートの整理

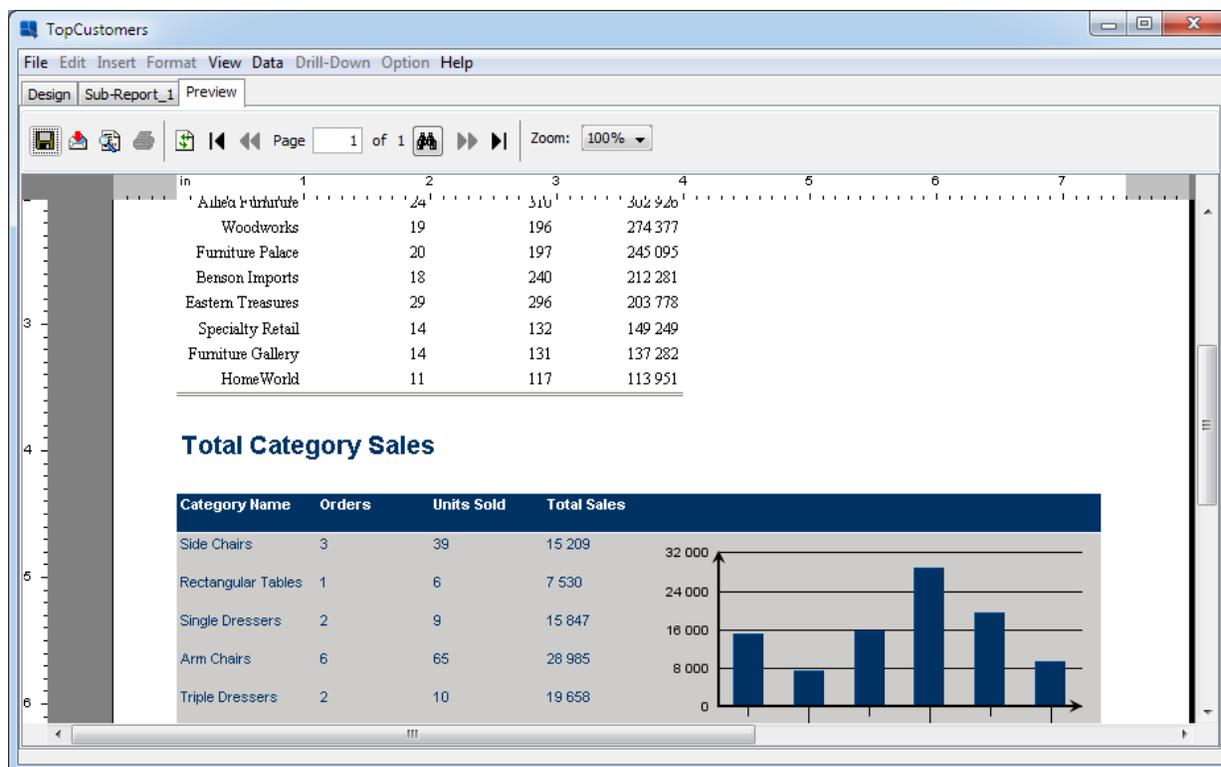
1. “Total Sales”ヘッダーを選択し、リサイズ・ハンドルをドラッグします。ヘッダーの右側がチャートの右側に整列されるまで幅を増加します。

2. ライブデータでサブレポートをプレビューします。レポートとチャートがシームレスに統合されています。



### ステップ 1 1 : サブレポートの整理

1. サブレポートのデザインが完成した後、「Design」タブをクリックし、メインデザインウィンドウに戻ります。サブレポートの保存ダイアログが表示されます。「Yes」を選択します。
2. メイン・デザイン・ウィンドウでサブレポートは小さなグレーの矩形で表示されます。矩形を選択し、サブレポートの幅をページの境界までリサイズハンドルをドラッグし、調整します。
3. 次に、サブレポートを右クリックし、ポップメニューから「Resize to Fit Content」を選択します。表示されるダイアログで、テキストにフィットするリサイズ機能を有効にして、「OK」をクリックします。
4. 「Preview tab」をクリックします。サブレポートの場合、プレビュータブは文脈依存になります。サブレポート・タブのプレビューを押したら、サブレポートのみ表示されます。さらに、デザイン・タブのプレビューを押したら、レポートの全体表示になります。



## ステップ 1 2 : レポートの保存

1. ツールバーから「Save」アイコンをクリックし、レポートの変更の内容を保存します。
2. Report Designer を閉じます。